



本日は学習発表会でした。今日までの応援、本当にありがとうございました。

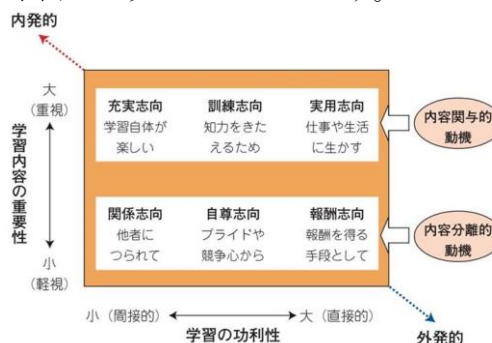
何のために勉強をするのかな

本日は、コスモス学習発表会でした。子どもたちの素晴らしい合唱や合奏が響き渡る、素敵な1日でした。たくさんの保護者の方にご観覧いただき、また本日までお家で様々なご支援をいただいたことに心より感謝申し上げます。特に、1年生のお子さんは、初めての学習発表会。おうちの方からの応援が、子どもたちの心のよりどころになったのではないのでしょうか。

私は、ここに至るまでの練習の姿を見てきました。自らよりよくなりたくとあくなき探究を続ける子どもたちの姿は、月並みな言葉になるのですが、やはり素晴らしい。自分のために努力を重ねるこの資質・能力こそが、これからの未来を創り出していくのだらうと、頼もしくも感じる次第でした。

ところで、私たちは何のために学習をしているのでしょうか。東京大学の市川伸一先生は、学習へのモチベーションを次の6つに分類し、下表のようにまとめています。

- ① 充実志向…学習自体が楽しい
- ② 訓練志向…知力をきたえるため
- ③ 実用志向…仕事や生活に生かす
- ④ 関係志向…他者につられて
- ⑤ 自尊志向…プライドや競争心から
- ⑥ 報酬志向…報酬を得る手段として



(市川伸一「現代心理学入門3：学習と教育の心理学」岩波書店、1995年)

どうでしょう、ここでは充実志向での学習が望まれますよね。ただ、自分にうそをつかず、本心を言えばどうでしょう。関係志向や自尊思考、そして報酬志向がむくむくっと頭をもたげてくる。割と学習が外発的動機付けになりがちだなあ。その上、日本人は学習を「義務」だととらえてしまう傾向にあるのではないかと、金沢大学の金間大介教授は述べられています。(参考：金間大介「先生、どうか皆の前でほめないでください-いい子症候群の若者たち」東洋経済新聞社.2022)

そういえば、我が子が小学生の時にも「子どもは勉強が仕事！さっさと宿題をきなさい！！」と声を荒らげてしまったことを思い出します(心から反省③)。

学習は子どもたちのもの。日本国憲法26条にも「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」とあります。少なくとも、やらされる学習ではなく、自分でやりたい学習へと変更して行ってほしい。そう、前回のネガ→ポジ大作戦の一環として。

学校でも、様々な学習の工夫を行っていきこうと、先生たちとたくさんの研修や研究を行っています。ぜひ、ご家庭でも学習について話題の一つにさせていただきながら、自ら学びとる令和の学習を楡木小みんなで目指していきましょう。

